

2023年度 学校自己評価（藤沢本校）

※評価基準…A：達成できている B：どちらかと言えば達成できている。 C：どちらかと言えば不十分である。 D：不十分である。

分類	評価の観点	評価項目	具体的な評価項目	評価	評価の観点と理由	今後の改善方策	メモ
1 学校運営	(1)教育課程	学習指導要領への対応状況	教育課程は学習指導要領に沿っており、その編成・実施の考え方について、教職員間で理解を深め合い、共有ができています。	A	・教育課程は、標準的な履修科目以外の科目も柔軟に選択できるように編成されている。 ・グループ校の教科担当者で新学習指導要領の検討、理解を深めながら内容の精査を、実施をしている。		
		教育目標	生徒の学力・体調面など、個々の状況に応じた支援・指導を行っているか。	A	・入学時や進級時の履修相談にあたって、可能な限り生徒の希望に応じた履修となるよう努めている。 ・スクーリング参加前に全員に健康調査を実施し、個々の事情に応じた支援・指導を実施している。		
	(2)教職員連携	組織運営	本部及び本校の校務分掌や主任体制などが適切に機能するなど、学校の運営・責任体制が整備されているか。	B	・組織運営や校務分掌、各主任及び主事体制が適切に運用されているが、教諭人数（生徒80名に対し1名）は不足している。	・学則定員（3000名）を遵守し、2024年4月に教諭人数（生徒80名に対し1名）の体制を確立できるよう採用拡大に努め、採用活動を実施する。	
		教員・教科間連携状況	教職員間の相互理解がなされ、共有及び信頼関係が構築され、教育活動が行われているか。	A	・SNSを活用しリアルタイムでの生徒対応状況を教員間で共有し、場面に応じた対応を取っている。その後の対応内容を共有している。		
		学校の連携状況	職員全体の情報交換の機会があり、相互理解及び連携を取り、生徒対応にあっているか。	A	・週に1回4拠点（藤沢本校、豊田駅前キャンパス、名古屋栄キャンパス、博多キャンパス）をオンラインで繋ぎ、各部署の情報共有をしながら連携を取り、生徒に対応している。		
		会議の有効性	職員会議・スクーリング会議などの共通認識・共通理解のもと、有効かつ効率的に機能しているか。	A	・定期的に職員会議や部門会議（進路指導部・生徒指導部、事務職会議等）を開催し、情報共有、意見交換の場面設定が行われている。		
	(3)財務関係	学校設置会社の役員及び株式の状況	学校設置会社の役員及び株式の状況が決算短信に記載されている。その状況は学校を運営するにあたり適切なものであるか。	A	・学校設置会社の経営及び財務に関する状況が決算短信に記載されている。その状況は学校を運営するにあたり適切なものである。 ・就学支援金については、適正に執行されている。就学支援金指導監査についても問題なしと評価された。		
		学校経営に必要な財務等の状況	学校に必要な財務等の状況が決算短信に記載されている。その状況は学校を運営するにあたり適切なものであるか。	A			
		高等学校等就学支援金	高等学校等就学支援金に係る事務を適切に執行しているか。	A			
	(4)施設・設備	面接指導等実施施設及び設備	面接指導等実施施設及び設備が教育上、適切である。施設は学則に記載している。	A	・面接指導等（スクーリング）は、教育特区区域内の施設で確実に行われている。 ・学習等支援施設では、定期的にレポート勉強会、スクールカウンセリング、進路サポートを実施し、生徒・保護者のニーズに応えられるよう対応している。 ・面接指導等実施施設及び学習等支援施設は、学則に記載している。	・生徒数の増加から、教室の増加、職員室の増床が急務となっている。	
		学習等支援施設	学習等支援施設では学習面、生活面、進路面の支援を行う。施設は学則に記載している。	A			
	(5)危機管理	役割分担	事故・事件・災害などに対する連携及び役割分担が明確になっているか。	A	・関係各所（警察・消防・学校医など）の連携はとれている。また事故、事件、災害時の校内体制も整っている。 ・学校内の設備において危険箇所について判明次第、修繕を行っている。 ・スクーリング時に避難訓練を実施し、避難時の留意点、誘導方法を共有した。 ・個人情報管理については、個人情報保護研修・eラーニングを用いた研修を行い、情報漏洩防止徹底を図った。		
		安全管理	学校内の安全点検管理及び諸活動が実施されているか。	A			
		危機管理対応状況	危機管理マニュアルに基づき、市役所、警察、消防と連携するなど、安全対策がとれているか。	A			
		個人情報管理	生徒情報管理が適切に行われているか。	A			

2023年度 学校自己評価（藤沢本校）

※評価基準…A：達成できている B：どちらかと言えば達成できている。 C：どちらかと言えば不十分である。 D：不十分である。

分類	評価の観点	評価項目	具体的な評価項目	評価	評価の観点と理由	今後の改善方策	メモ
2 教育内容・支援	(1)面接指導・添削指導等	スクーリング参加状況	年間スクーリング計画に基づいた参加促進を行っているか。	A	・申し込みシステムを改修し、これまでの3か月後までの日程だけでなく、通年で生徒が参加予約ができるようにし、スクーリング参加促進を促した。	<ul style="list-style-type: none"> ・精神的、体力的に不安がある生徒への支援体制（生徒指導主事・保健主事を中心）を更に強化していく。 ・様々な課題がある生徒に対して特性に応じ、学ぶ意欲をあげられるよう取り組んでいく。 ・教員増加により負担減が見込め、フィードバックの質向上をし、生徒の理解がさらに深められるよう努めていく。 	
		スクーリング内容（面接授業）	各科目担当者が創意工夫を行い、生徒が主体的に参加でき、理解を深められる授業を展開しているか。	B	・授業内容については、学ぶ楽しさ、発見する喜びを得られるよう、内容・実施方法を見直し、個々の事情に沿いながら主体的に参加できるよう実施した。		
		レポート内容・添削	レポートが学習成果につながる内容になっている。インターネットを活用した添削結果のフィードバックをできる限り画一とせず、学習成果を高められるよう取り組んでいるか。	C	・レポート添削において画一的なフィードバックとなってしまう科目がみられた。		
	(2)情報発信	ネット回線の有効活用	「ルネ高マイページ」「保護者マイページ」、SNS等でのタイムリーな情報提供を行っているか。	A	・SNSを用い、学校行事の様子を発信、動画による学校、教職員の紹介、在校生だけでなく入学志願者にも活用されている。		
		個人に対する効果的な情報提供	「ルネ高マイページ」「進路公式LINE」にて、生徒及び保護者が学習進捗の確認や進路情報が得やすくなっているか。	A	・進路公式LINEを用いて学習状況・進路情報の提供をタイムリーに行うことができている。直接進路担当に質問できるツールとして活用している。		
	(3)情報教育	情報能力知識	各種活用能力の知識を向上させられるよう取り組んでいるか。	A	・情報・特別活動の面接指導では、情報リテラシーに関して重点をおきながら取り組んでいる。		
情報モラル指導		情報発信・公開に伴う責任など情報モラルの教育に取り組んでいるか。	A	・SNSの学校アカウントを教員・入学相談担当が運用しており、不適切な内容があった生徒へ指導・説諭を行っている。			
3 生徒・進路・保健指導	(4)生徒指導	指導方針の一貫性	指導方針に従い、学校満足度（進級卒業・進路決定など）を高められているか。	A	・スクーリングでは、生徒指導部、保健主事を中心に共有事項・対応方法を教職員間で全体共有をし、参加生徒の特徴・課題に応じて、スクーリングを実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・スクーリング会議時に研修を実施し、教員の知識・資質の向上に努める。 	
		教員の共通認識と研修	生徒が安全に活動できるよう共通認識にて運営されているか。また、生徒の実態に応じたテーマにて、計画的な研修を実施しているか。	A	・事前会議にて全教員に注意事項・配慮事項の共有をしている。		
		家庭との連携状況	計画的かつタイムリーな連携をとり、充実した学校生活が送れるよう支援しているか。	A	・保護者ともマイページのお問い合わせ、電話、LINEを使いながらサポート体制を築いている。		
		いじめ等の問題行動の未然防止	すべての生徒が安心した学校生活を送れるよう、基本方針に基づき、いじめ対策委員会を設置し適切に運営されているか。	A	・校内巡視を頻繁に行い、異変があった場合はすぐに教員全体に周知できる体制をとり、早期発見・早期対応をしている。		
	(5)進路指導	キャリア教育について	キャリア教育（進路指導）に取り組む体制を整備し、生徒の自立に向けた取り組みが実践しているか。	A	・希望進路実現に向け、面談、弊校のみの大学・専門学校・就職合同説明会、希望進路別の説明会、面接対策指導を各キャンパスで実施した。「とよた多世代参加支援プロジェクト」からボランティアや、就職カウンセリングをオンラインで実施した。		
	(6)保健指導	健康の保持増進について	心身ともに健康であるための支援（定期連絡やスクーリング時における生活習慣の見直し）が実施されているか。	A	・年度当初に健康診断を実施、各家庭に結果を送付し、スクーリング時には感染症予防・規則正しい生活習慣の指導を行い、生徒が健康で規則正しい生活が送れるよう取り組んでいる。		
4 その他	(1)教職員研修	教職員の資質向上を図るため、計画的な研修を実施しているか。	B	・コンプライアンス研修・学校内研修・救命救急研修を通し、教職員の資質向上に努めている。	・教職員としての資質向上となる研修を計画・実施していく。		
	(2)学校評価	「学校運営点検調査」、「豊田市教育特区学校審議会」ほか学校関係者による評価、それぞれの立場・視点から意見を出し合うことを通し、開かれた学校づくりが進められているか。	B	・学校関係者評価について評価委員会等を設置し、評価実施、HP上に3月頃公開するよう進めている。			
	(3)他校及び関係機関との連携	姉妹校・他校や自治地区・地域の組織と交流をもち、情報交換等を行い、学校全体の教育力を高められるよう努めているか。	A	・「とよた多世代参加支援プロジェクト」を通じて、生徒の社会参加に通じるインターンを実施している。豊田市内で実施される「ゆるっとほけんしつ」へ引き続き参加し、病院・放課後等デイサービス施設等とも情報を共有しフォロー体制をとっている。			

2023年度 学校自己評価（豊田駅前キャンパス）

※評価基準…A：達成できている B：どちらかと言えば達成できている。 C：どちらかと言えば不十分である。 D：不十分である。

分類	評価の観点	評価項目	具体的な評価項目	評価	評価の観点と理由	今後の改善方策	メモ	
1 施設 運営	(1)教職員連携	組織運営	施設の運営・責任体制が整備されているか。	A	・職員9名（教員6名、事務職員3名）が常駐し、整備されている。			
		教職員間連携状況	教職員間の相互理解がなされ、共有及び信頼関係が構築され、教育活動が行われているか。	A	・本校と同時にスクーリング実施をしており、教員が日替わりで交代し授業を実施しており、本校と連携がとれている。			
		学校の連携状況	職員全体の情報交換の機会があり、相互理解及び連携を取り、生徒対応にあたっているか。	A	・個別の相談事項、困りごとなどについて教員との共有システム（以下生徒カルテ）により、教員間の漏れのない対応をしている。			
		会議の有効性	職員会議などの共通認識・共通理解のもと、有効かつ効率的に機能しているか。	A	・教職員間の連携を強化するため週1回の全体朝礼及びスクーリング会議、月1回の通学コース会議を行い、情報共有した。			
	(2)施設・設備	学習支援等を実施する施設及び設備	学習指導等を実施した施設・設備が教育上、適切である。施設は学則に記載している。	A	・毎月、キャンパス実施のレポート会（数学）を開催。 ・随時の保護者、生徒面談の場を提供している。			
		学習支援施設	学習支援施設では学習面、生活面、進路面の支援を行う。	A	・通学コース会場として生徒を支援している。			
	(3)危機管理	役割分担	事故・事件・災害などに対する連携及び役割分担が明確になっているか。	A	・月次の管理報告において、有事に即時対応できるよう、マニュアルが準備されている。			
		安全管理	キャンパス内の安全点検管理及び諸活動が実施されているか。	A				
		危機管理対応状況	危機管理マニュアルに基づき、市役所、警察、消防と連携するなど、安全対策がとれているか。	A				
		個人情報管理	生徒情報管理が適切に行われているか。	A				
	2 教育 内容 ・ 支援	(1)情報発信	ネット回線の有効活用	タイムリーな情報提供を行っているか。	A	・通学コース用の公式LINEを通じ、生徒・保護者に適宜情報を共有している。		
			個人に対する効果的な情報提供	生徒及び保護者が学習進捗の確認や進路情報等が得やすくなっているか。	A			
(2)情報教育		情報能力知識	各種活用能力の知識を向上させられるよう取り組んでいるか。	A	・情報・特別活動の面接指導では、情報リテラシーに関して重点をおいて取り組んでいる。 ・SNSの学校アカウントを教員・入学相談担当が運用しており、不適切な内容があった生徒へ指導・説諭を行っている。			
		情報モラル指導	情報発信・公開に伴う責任など情報モラルの教育に取り組んでいるか。	A				

2023年度 学校自己評価（豊田駅前キャンパス）

※評価基準…A：達成できている B：どちらかと言えば達成できている。 C：どちらかと言えば不十分である。 D：不十分である。

分類	評価の観点	評価項目	具体的な評価項目	評価	評価の観点と理由	今後の改善方策	メモ
3 生徒・ 進路 指導	(1)生徒指導	指導方針の一貫性	指導方針に従い、生徒及び保護者の満足度（進級卒業・進路決定など）を高められているか。	A	・生徒及び保護者からの困りごと、相談ごとに関しては、教職員間で即座に共有し、適切に担当者に対応するよう努めている。 ・SNS巡回（具体的にはキーワードを入力し、いじめや問題行動が無いか、検索）で危険察知、通学コースでは、日々生徒の様子を確認し、未然防止に努めている。		
		教員の共通認識と研修	生徒が安全に活動できるよう共通認識にて運営されているか。また、生徒の実態に応じたテーマにて、計画的な研修を実施しているか。	A			
		家庭との連携状況	計画的かつタイムリーな連携をとり、充実した学校生活を送れるよう支援しているか。	A			
		いじめ等の問題行動の未然防	生徒が安心した学校生活を送れるよう運営されているか。	A			
	(2)進路指導	キャリア教育について	キャリア教育（進路指導）に取組む体制が整備され、生徒の自立に向けた取組みが実践されているか。	A	・3者面談の実施、大学・専門学校・民間企業と連携し、進路指導を実践した。		
4 その他	(1)教職員研修		教職員の資質向上を図るため、計画的な研修を実施しているか。	B	・コンプライアンス研修・学校内研修・救命救急研修を通し、教職員の資質向上に努めている。	・教職員としての資質向上となる研修を計画・実施していく。	
	(2)他校及び関係機関との連携		姉妹校・他校や自治地区・地域の組織と交流をもち、情報交換等を行い、学校全体の教育力を高められるよう努めているか。	A	・「とよた多世代参加支援プロジェクト」を通じて、生徒の社会参加に通じるインターンを実施している。豊田市内で実施される「ゆるっとほけんしつ」へ引き続き参加し、病院・放課後等デイサービス施設等とも情報を共有しフォロー体制をとっている。		

2023年度 学校自己評価（名古屋栄キャンパス）

※評価基準…A：達成できている B：どちらかと言えば達成できている。 C：どちらかと言えば不十分である。 D：不十分である。

分類	評価の観点	評価項目	具体的な評価項目	評価	評価の観点と理由	今後の改善方策	メモ
1 施設 運営	(1)教職員連携	組織運営	施設の運営・責任体制が整備されているか。	A	・職員4名（教員1名、入学相談3名）が常駐し、運営・整備されている。		
		教職員間連携状況	教職員間の相互理解がなされ、共有及び信頼関係が構築され、教育活動が行われているか。	A	・地理的に対応が難しい場合においてもオンラインを活用しながらキャンパス職員が可能な範囲での対応を行っている。		
		学校の連携状況	職員全体の情報交換の機会があり、相互理解及び連携を取り、生徒対応にあたっているか。	A	・個別の相談事項、困りごとなどについて教員との共有システム（以下生徒カルテ）により、教員間の漏れない対応をしている。		
		会議の有効性	職員会議などの共通認識・共通理解のもと、有効かつ効率的に機能しているか。	A	・教職員間の連携を強化するため週1回の全体朝礼共有を実施した。		
	(2)施設・設備	学習支援等を実施する施設及び設備	学習指導等を実施した施設・設備が教育上、適切である。施設は学則に記載している。	A	・毎月キャンパス実施のレポート会（数学）を開催。 ・随時の保護者、生徒面談の場をキャンパスにて提供。		
		学習支援施設	学習支援施設では学習面、生活面、進路面の支援を行う。	A	・キャンパス内自習室完備により、常に学習できる場所を提供。また平日は、ほとんど毎日に大学生に来ていただき学習支援という形で学習指導も行っている。		
	(3)危機管理	役割分担	事故・事件・災害などに対する連携及び役割分担が明確になっているか。	A	・月次の管理報告において、有事に即時対応できるよう、マニュアルが準備されている。		
		安全管理	キャンパス内の安全点検管理及び諸活動が実施されているか。	A			
		危機管理対応状況	危機管理マニュアルに基づき、市役所、警察、消防と連携するなど、安全対策がとれているか。	A			
		個人情報管理	生徒情報管理が適切に行われているか。	A			
2 教育 内容・ 支援	(1)情報発信	ネット回線の有効活用	タイムリーな情報提供を行っているか。	A	・SNS(学校アカウント発信)活用。またキャンパス来校生徒からも学習内容（レポート）の質問も寄せられている状況鑑み、その一翼を担っていると考ええる。		
		個人に対する効果的な情報提供	生徒及び保護者が学習進捗の確認や進路情報等が得やすくなっているか。	A			
	(2)情報教育	情報能力知識	各種活用能力の知識を向上させられるよう取り組んでいるか。	A	・キャンパスイベントの専門学校訪問・キャンパスでの講話等を通じて知識向上のきっかけを創出した。		
		情報モラル指導	情報発信・公開に伴う責任など情報モラルの教育に取り組んでいるか。	A	・SNS巡回等で危険察知し、トラブルを未然に防止した。		

2023年度 学校自己評価（名古屋栄キャンパス）

※評価基準…A：達成できている B：どちらかと言えば達成できている。 C：どちらかと言えば不十分である。 D：不十分である。

分類	評価の観点	評価項目	具体的な評価項目	評価	評価の観点と理由	今後の改善方策	メモ
3 生徒・進路指導	(1)生徒指導	指導方針の一貫性	指導方針に従い、生徒及び保護者の満足度（進級卒業・進路決定など）を高められているか。	A	・生徒及び保護者からの困りごと、相談ごとに関しては、教職員間で即座に共有し、適切に担当者に対応できるよう努めている。 ・SNS巡回（具体的にはキーワードを入力し、いじめや問題行動が無いか、検索）で危険察知、通学コースでは、日々生徒の様子を確認し、未然防止に努めている。		
		教員の共通認識と研修	生徒が安全に活動できるよう共通認識にて運営されているか。また、生徒の実態に応じたテーマにて、計画的な研修を実施しているか。	A			
		家庭との連携状況	計画的かつタイムリーな連携をとり、充実した学校生活が送れるよう支援しているか。	A			
		いじめ等の問題行動の未然防	すべての生徒が安心した学校生活を送れるよう運営されているか。	A			
	(2)進路指導	キャリア教育について	キャリア教育（進路指導）に取り組む体制が整備され、生徒の自立に向けた取組みが実践されているか。	A	・3者面談等の生徒・保護者からの依頼に対応している。		
4 その他	(1)教職員研修		教職員の資質向上を図るため、計画的な研修を実施しているか。	A	・職員においては随時、知識共有（メール・LINE通じて等）を実施。		
	(2)他校及び関係機関との連携		姉妹校・他校や自治地区・地域の組織と交流をもち、情報交換等を行い、学校全体の教育力を高められるよう努めているか。	A	・拠点長会議等における姉妹校情報共有を実施。		

2023年度 学校自己評価（博多キャンパス）

※評価基準…A：達成できている B：どちらかと言えば達成できている。 C：どちらかと言えば不十分である。 D：不十分である。

分類	評価の観点	評価項目	具体的な評価項目	評価	評価の観点と理由	今後の改善方策	メモ
1 施設運営	(1)教職員連携	組織運営	施設の運営・責任体制が整備されているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・職員4名（eスポーツ・生徒対応担当2名、入学相談2名）が常駐し、運営・整備されている。 ・職員間でSNSを用い生徒対応を共有し、タイムリーに生徒指導・進路指導等できる仕組みとしている。 ・週に1回4拠点（藤沢本校、豊田駅前キャンパス、名古屋栄キャンパス、博多キャンパス）をオンラインで繋ぎ、各部署の情報共有をしながら連携を取り、生徒に対応している。 ・定期的に職員会議を開催し、情報共有、意見交換の場面設定が行われている。 		
		教員職員間連携状況	教職員間の相互理解がなされ、共有及び信頼関係が構築され、教育活動が行われているか。	A			
		学校の連携状況	職員全体の情報交換の機会があり、相互理解及び連携を取り、生徒対応にあっているか。	A			
		会議の有効性	職員会議などの共通認識・共通理解のもと、有効かつ効率的に機能しているか。	A			
	(2)施設・設備	学習等支援を実施する施設及び設備	学習等支援を実施した施設・設備が教育上、適切である。施設は学則に記載している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学習等支援を行った職員から情報を共有し、連携して生徒に対応している。 		
		学習支援施設	学習等支援施設では学習面、生活面、進路面の支援を行う。	A			
	(3)危機管理	役割分担	事故・事件・災害などに対する連携及び役割分担が明確になっているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・関係各所（警察・消防など）の連携は取れている。また事故、事件、災害時のキャンパス内体制も整っている。 ・キャンパス内の設備において危険個所については判明次第、修繕を行っている。 ・個人情報管理については、個人情報保護研修・eラーニングを用いた研修を行い、情報漏洩防止徹底を図った。 		
		安全管理	キャンパス内の安全点検管理及び諸活動が実施されているか。	A			
危機管理対応状況		危機管理マニュアルに基づき、市役所、警察、消防と連携するなど、安全対策がとれているか。	A				
個人情報管理		生徒情報管理が適切に行われているか。	A				
2 教育内容・支援	(1)情報発信	ネット回線の有効活用	タイムリーな情報提供を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンパス公式LINEを用いて情報提供をタイムリーに行うことができる。 		
		個人に対する効果的な情報提供	生徒及び保護者が学習進捗の確認や進路情報等が得やすくなっているか。	A			
	(2)情報教育	情報能力知識	各種活用能力の知識を向上させられるよう取り組んでいるか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS使用時の注意点など、情報リテラシーに関する内容を講義内で生徒へ伝えている。 ・教員がSNSを学校アカウントで運用しており、不適切な内容があった生徒へ指導・説諭を行っている。 		
		情報モラル指導	情報発信・公開に伴う責任など情報モラルの教育に取り組んでいるか。	A			

分類	評価の観点	評価項目	具体的な評価項目	評価	評価の観点と理由	今後の改善方策	メモ
3 生徒・進路指導	(1)生徒指導	指導方針の一貫性	指導方針に従い、生徒及び保護者の満足度（進級卒業・進路決定など）を高められているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・eスポーツ講義では、共有事項・対応方法を職員、業務委託講師で共有し、参加した生徒の特徴に沿った指導方針を定めている。 ・保護者とも連携を取りながら生徒の課題を把握し、充実した学校生活を送れるよう支援している。 ・キャンパス内巡視を頻繁に行い、異変があった場合すぐに職員全体に周知できる体制をとり、早期発見・早期対応をしている。 		
		教員の共通認識と研修	生徒が安全に活動できるよう共通認識にて運営されているか。また、生徒の実態に応じたテーマにて、計画的な研修を実施しているか。	A			
		家庭との連携状況	計画的かつタイムリーな連携をとり、充実した学校生活を送れるよう支援しているか。	A			
		いじめ等の問題行動の未然防	すべての生徒が安心した学校生活を送れるよう運営されているか。	A			
	(2)進路指導	キャリア教育について	キャリア教育（進路指導）に取り組む体制が整備され、生徒の自立に向けた取組みが実践されているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・希望進路実現に向け、大学・専門学校説明会、試験対策指導（面接練習）を各キャンパスと連携して実施した。 		
4 その他	(1)教職員研修	教職員の資質向上を図るため、計画的な研修を実施しているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・eラーニングを用いたコンプライアンス研修を通じ、職員の資質向上に努めた。 	教職員としての資質向上となる研修を計画・実施していく。		
	(2)他校及び関係機関との連携	姉妹校・他校や自治地区・地域の組織と交流をもち、情報交換等を行い、学校全体の教育力を高められるよう努めているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹校と積極的に情報交換を行い、キャンパスとして相互に発展できるよう努めた。 	自治地区や地域の組織と交流をもつよう改善を行う。		